

○魚道

昔は魚などの生活環境を考えずに川に段差（だんさ）を作りました。それは、川から水を取るための堰（せき）や川の流れをゆるくするための落差工（らくさこう）などです。

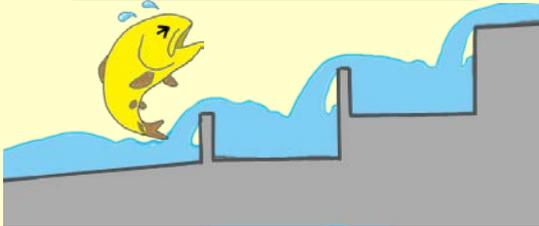
そのおかげで魚たちは、上流にのぼれなくなり、棲（す）める場所が少なくなってしまいました。

魚道とは、そのような川の段差を魚たちが行ったり来たりできるように作った通り道です。

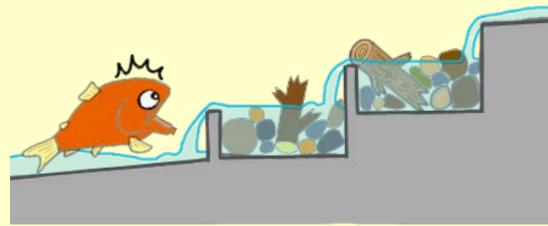
でも、作り方によっては魚たちがうまく上れない場合があります。

魚が困ってしまう魚道

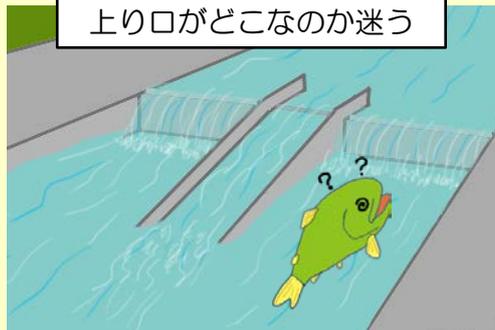
ジャンプしないと上れない



ゴミや土砂などが詰まってしまう

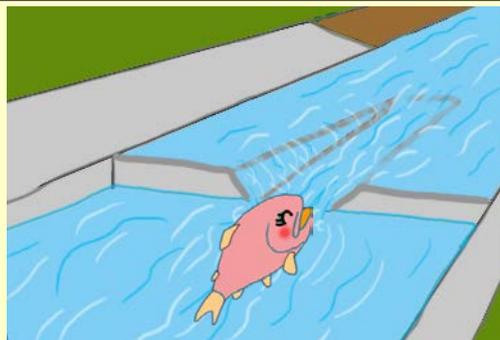


上り口がどこなのか迷う



魚にやさしい魚道

- 泳いで上れる
- 迷わず上れる
- 土砂などが詰まらない



農村振興課が作った魚道の事例

尻別川で絶滅寸前となっている魚“イトウ”の保護活動をおこなっている「オビラメの会」との協働により、平成19年度～平成23年度にかけて、尻別川支流に5基の魚道を作りました。

※ 事業名：地域用水環境整備事業（魚道）倶登山地区

魚にやさしい魚道ができました！



その結果、イトウが魚道を上って上流の産卵場所まで上って来ました！



婚姻色で赤くなったオス（右上）と産卵床を埋めるメス（左下）

私たちは今後とも後志の貴重な自然環境に配慮しながら仕事を進めていきます。

※オビラメの会のホームページはこちら
<http://obirame.fan.coccan.jp/>